

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所 創薬支援事業推進にむけ専門人材拡充へ 製薬企業出身者 コミュニティ「Active-T」と連携 ～万博を機に海外案件収集にも注力、体制強化をめざす～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部（内村、槇山）

TEL 06-6944-6484

大阪商工会議所（以下、大商）は、製薬企業の創薬研究を支援するプロジェクト「Drug Seeds Alliance Network Japan:DSANJ（ディサンジェイ）（創薬シーズ・基盤技術アライアンス・ネットワーク・ジャパン）」の機能を拡充するため、製薬企業出身者による支援を強化する。この度、武田薬品工業株式会社（以下、タケダ）の出身者が立ち上げた会員制のビジネスコミュニティ「Active-T」（アクティブ・ティ）と連携することで合意した。大商は長年にわたり、ライフサイエンス分野を戦略分野と位置づけ、最先端医療からスポーツウエルネスまで幅広い領域で関連産業振興に注力しており、「DSANJ」は、大学や研究機関の研究者及びスタートアップと、日本に拠点のある製薬企業をつなぎ、共同研究や技術移転等を図るもの。海外の研究成果も対象にするなど、内容を充実させるとともに、技術の目利きや、研究者やスタートアップ向けのアドバイス等、事業効果向上のため、Active-T と新たに連携する。今後も製薬各社の出身者の協力を求め、募集を継続する。

■創薬支援の機能強化に向け、専門人材を備えた体制を強化

- 大商は、「ウエルネスビジネスの創出」を戦略の柱の一つとしており、関連する産業振興事業は、いずれも全国を対象に、また国際連携も進めながら展開している。
- 創薬分野においては、25年にわたり全国のアカデミアやスタートアップから創薬シーズや基盤技術を集め、製薬企業とつなぎ、共同研究や技術移転等を支援する事業を展開。2000 年から 10 年にわたりピッチコンテストである「バイオビジネスコンペ JAPAN」を、その後継事業として「DSANJ」を実施している。
- DSANJの運営においては、製薬企業のニーズ把握や創薬シーズの評価等、製薬企業出身者等、専門人材の知見が必要。さらに今年度より、海外案件の収集にも本格的に着手し、取り組みの幅を広げていく。
- 大商はすでに、複数の製薬企業から出身者の紹介を得ているが、専門人材ネットワークの更なる拡充のため、製薬企業等出身者による会員制コミュニティ「Active-T」と新たに連携し、体制の強化を図る。
- 大商はこれまで医療機器開発支援の分野でも、30 名の専門人材を活用し、医療機器開発に関する企業の個別相談を年間 400 件以上にわたり実施するなど、実質的な支援を積極的に行っている。

<Active-T について>

設立の目的と活動：日本の創薬力を支え、社会へ貢献することを目的としたコミュニティ。
人材交流や、セミナー、情報発信を積極的に展開。

会員数：約220名

属性：武田薬品ほか、製薬・医療機器・化学・商社等、ライフサイエンス系職務経験者

ホームページ <https://www.active-t.jp/>

事務局：（合同会社マッシュ内）担当：新野

Mobile: 080-3012-7306 Mail: niino@masc-mn.com

Active-T は、製薬企業の研究開発に携わってきたメンバーが、「DSANJ」の幅広い事業案件に貢献できる機会は、個々が培ってきたこれまでの叡智を発揮し、さらに磨きをかけられると期待。

大阪商工会議所「DSANJ」について

■ホームページ <https://www.osaka.cci.or.jp/dsanj/>

■ネットワーク： 全国の大学、研究機関、バイオベンチャー等 全国262機関と連携
世界25か国 104機関と連携

■概要

DSANJとは Drug Seeds Alliance Network Japan（創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク）



DSANJは、国内外の大学や研究機関の研究者、及びスタートアップと製薬企業をつなぎ、創薬活動を支援するためのプログラム

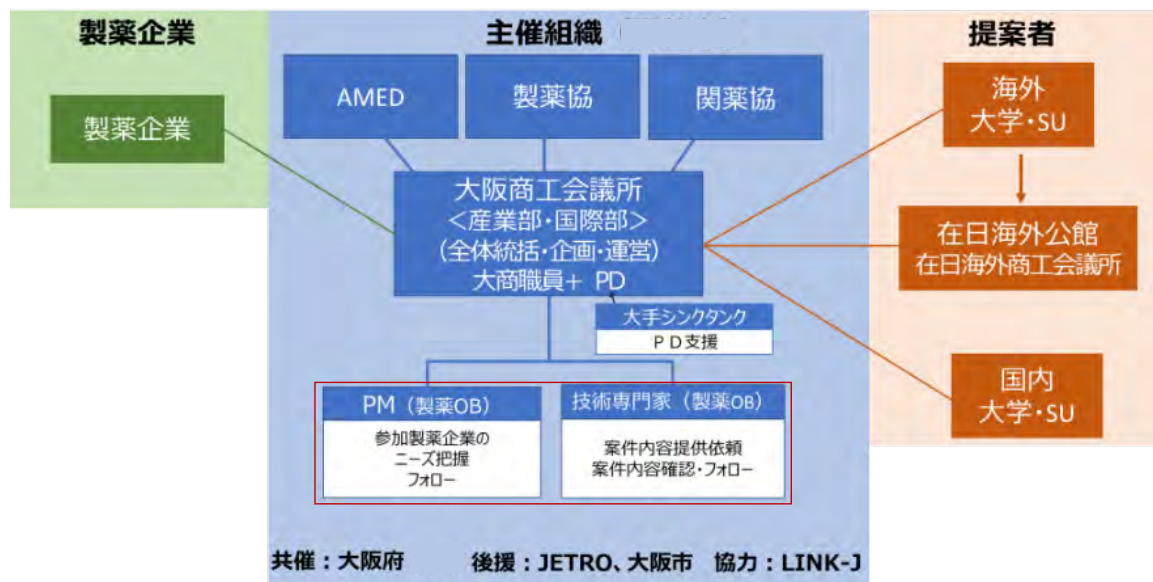
- ✓ 国内外の大学、研究機関、スタートアップの研究成果（創薬シーズ、基盤技術等）を、製薬企業に提供し、創薬研究、新薬開発推進を支援するため、オンライン商談会「DSANJ Bio Conference」を年2回開催。



1

■体制図

DSANJ体制



2